

(仮称)川西市総合医療センター
キセラ川西センター整備事業

別添資料 1 要求水準書
附属資料 諸元表・凡例

平成 31 年 4 月

令和元年 6 月

川西市

【諸元表について】

諸元表は、本事業における施設整備において、主要な室の機能や性能等の要求水準を示すものである。加点審査項目提案書の作成に当たっては、室条件を充足しながら、室の配置、扉の位置、必要となる設備の仕様・位置・数量等を計画すること。

事業者は、設計業務において、病院各部門の要望を十分に反映させるため、詳細な室条件について市及び指定管理者に対してヒアリングを実施すること。また、事業者は、ヒアリングにて収集した要望を市と十分に協議のうえ整理を行い、諸室の各種要件について確認を行うこと。特に、本事業による施設整備にて備え付けるものや医療機器に必要な設備・構造、備品レイアウトと合致した計画を行うこと。諸元表に記載のある内容は、原則その条件を満たすこと。ただし、ヒアリングの結果等により使い勝手を配慮した上で諸元表と異なる内容を提案し、その提案を市が承諾した場合は、同提案内容は要求基準を上回る水準とみなし、諸元表の内容の変更を認めるものとする。

電気室、機械室、D S・P S・E P S等は、計画の考え方によりその必要数や必要面積が変化すると考えられるため、事業者各自の計画に則り適宜計画すること。C TやM R Iなどの機器特有の機械室等も機種に応じて計画すること。

また、本事業は、救急医療、周産期医療、小児医療及び災害時にも適切な医療を提供できる病院を目指すものであり、当該病院に当然備えるべき機能レベルは、施設要求水準欄に示す各室特有のものを除き記載していない。事業者は適切な判断により各諸室、設備等を計画すること。

なお、諸室の種類に応じて当然備えるべきものとしては、一般的に階段・廊下の手摺、トイレ及び浴室等の補助手摺、ブラインド、カーテンレール（カーテンは別途工事）カーテンボックス、スクリーンボックス、ピクチャーレール、各種サイン、障害者用表示・案内、感染予防消毒液収納、靴拭きマット、ストレッチャーガード、コーナーガード、点滴フック・レール、各種カウンター、化粧鏡、収納及び収納扉の耐震ロック機能、収納棚、消火器ボックス、避難器具、ペーパータオル、ハンドドライヤー、ベビーシート、浴室・脱衣室等の局所的な暖房器具等が該当する。

また、病院機能上、各種医療機器機能上、診療報酬基準、法令順守、保守管理等で当然必要となる設備については適切に計画すること。

以下諸元表の各項目について凡例を示す。

【全般】

全般記号凡例	
(想定面積)	1室当たりの面積（壁芯面積）を示す。 「以上」の記載の部屋については記載されている想定面積以上を確保すること。 数字以外の記載のない部屋については、記載されている想定面積の±10%以内とすること。なお、室の機能を鑑みて運用に支障のない面積とすること。 「適宜」の記載の部屋については施設要求水準・備考欄・配置予定の主要な医療機器等欄に記載の機器・什器・備品の配置が可能で内部通路スペースの確保など運用に支障のない面積とする。
(施設要求水準)	特有の使い方をする部屋用途の説明及び室における特有の設計水準がある場合に記載している。諸室の種類に応じて当然備えるべきものについては、記載がなくとも設置を行うこと。

【建築等】

建築関係記号凡例	
(吊戸棚)	「印のある部屋については諸室の特性に配慮の上、設置すること。
(カウンター)	「印のある部屋については諸室の特性に配慮の上、設置すること。
(流し台)	「医・バ・単」印のある部屋には、医療用流し台を設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「医・バ・混」印のある部屋については、医療用流し台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ・混」印のある部屋については、流し台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。
(洗面化粧カウンター)	「バ・単」印のある部屋及び洗面化粧カウンターの設置と記載のある部屋については、洗面化粧カウンターを設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ・単」印のある部屋及び洗面化粧台の設置と記載のある部屋については、洗面化粧台を設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ・混」印のある部屋及び洗面化粧カウンターの設置と記載のある部屋については、洗面化粧カウンターを設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ・混」印のある部屋及び洗面化粧台の設置と記載のある部屋については、洗面化粧台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。

【電気設備】

(共通事項)

原則、「病院設備設計ガイドライン(電気設備編)HEAS-04-2011(設計時の最新版)」、「JIST1022 病院電気設備の安全基準」及び電気設備学会「病院電気設備の設計・施工指針」に準じて計画すること。

電気設備記号凡例	
(電話、TV)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(患者呼出、ナースコール、インターホン)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(医療機器用配管)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 心電モニター、分娩監視装置用などを示す。 3) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(LAN)	1) 標準的な設置個所を示す。システム構成については市と十分協議すること。 2) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。 3) 電子カルテとは電子カルテ、部門システム、PACS、医事会計等のネットワークを総称し、一般インターネットとは医療職向け、事務職向けネットワークを総称する。
(コンセント)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 特殊電源とは単相200V、三相200V、単回路を必要とする大容量コンセントを示す。 3) コンセントの数量、容量等については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(照明器具)	1) 標準的な回路構成を示す。 2) 照度、グレア、点滅区分等については、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。

【機械設備】

(共通事項)

原則、「病院設備設計ガイドライン(空調設備編)HEAS-02-2013」、「病院設備設計ガイドライン(衛生設備編)HEAS-03-2011」、「新しい感染症病室の施設設計ガイドライン」に準じて計画すること。

機械設備記号凡例	
(空調運転時間)	1) 空調運転時間を示す。 定時：7:00～8:00頃から18:00～21:00頃など、主に昼間決められた時間連続運転する室。 24時間：年間を通じて24時間連続的に運転、または随時運転する室。
(給水)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(給湯)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(排水)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(ガス)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(蒸気)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(特殊排水)	1) 感染系統、中和処理系統、透析系統、厨房系統、高温高圧排水等特殊な排水の必要な室を示す。必要に応じて適切な排水処理設備を設けること。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。 感染系統 ・検査部門、除染室、洗濯室などからの感染性排水。 中和処理系統 ・洗浄室などからの洗浄排水。 透析系統 ・人工透析排水。 厨房系統 ・厨房エリアからの油脂分を含んだ排水。 高温高圧排水 ・中材部門からの高温高圧排水(オートクレーブなど)

(医療ガス)	<p>1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。なお病室については、原則ベッド毎に設置すること。</p> <p>酸素</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 <p>吸引</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 <p>空気</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 <p>笑気</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 <p>窒素</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 <p>二酸化炭素</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 <p>余剰ガス排気</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 	
(衛生器具)	<p>1) 最低限設置の必要な室を示す。諸室の特性を配慮の上設置すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。</p> <p>手洗器</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び医療従事者用に設置。感染防止のため自動水栓を原則とし、溢水口なしとする。「自動」は自動水栓、「レバーハンドル」はレバーハンドル、「単」は単水栓、「混」は混合水栓（水とお湯の混合）を示す。 <p>スタッフ用手洗器（グースネック水栓）</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療従事者用に設置。感染防止のため自動水栓とし、溢水口なしとする。自動水栓は、残留塩素濃度確保のため単水栓（水のみ）を原則とし、手首まで洗えるグースネック水栓とする。 <p>手術用手洗器</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋について設置すること（医療従事者用）。センサーの前に手をかざすだけで水の出し止めができるものとすること。 <p>掃除流し</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋について設置すること。 <p>汚物流し</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋について設置すること（医療従事者用）。汚物を扱った医療従事者が水栓に接触することなく洗浄できるよう、センサースイッチとすること。 <p>乳児バス</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋について設置すること。 <p>オストメイトトイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> 印のある部屋について設置すること。 	

必要諸室		全般			建築等		電気設備						機械設備												備考 (本工事)	配置予定の主要な医療機器等 (別途工事)																
部門名	諸室名	面積		備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンタ	洗面化粧台	電話	T.V	音響	アシストコール	インターホン	医療機器用插座	その他：電子カルテ用！	LAN	コンセント	照明器具	空調運転時間	給水	排水	排水	特殊排水	酸素	蒸気	吸引	空気	蒸気排泄	二酸化炭素排泄	医療ガス	衛生器具	手洗器	洗面器 /	手洗器スクリーフ	排水栓	排水栓洗浄	手術用手洗器	汚物洗し	乳湯バス	オストメイト	シャワーウォーターバス	手指乾燥機
スタッフ諸室	医師控室	1	50	50	麻酔科医控室と兼用する 同時に15人が使用すること想定する														24時間																							
	当直室	3	12	36	男女の区分を設ける 2段ベッドの設置を想定する				自動・混										24時間																							
	カンファレンス室	1	8	8	同時に4~5人が利用できるスペースを設ける															24時間																			街野カメラ用配管、観察モニター用配管	街野カメラ、観察モニター		
	職員更衣室（男）	1	50	50	男女合わせて60人（同時に男女それぞれ30名）が使用する 男女比率が想定できないため、フレキシブルな対応を可能とする 中央材料部門に兼用するため、隣接する			自動・混											24時間																							
	職員更衣室（女）							自動・混											24時間																							
	ユニホームストック	1	適宜																																							
	職員用トイレ	2	適宜		男性用1、女性用1を設置する																																					
	ユニットシャワー	2	5	10	脱衣室を設ける 男女を区分する 各職員更衣室内に設ける																																					
	スタッフ通路	1	適宜																																							
	スタッフ諸室				放射線部門との動線短縮に配慮し、特に血管撮影室は手術室につながるEVの近傍に配置する HCU病棟と手術部は清潔ゾーンで直結する配置とする 患者動線は患者や物品動線とはできるだけ交差しないよう配慮する 帝王切開手術は手術ゾーンで行うため、女性病棟との動線を短縮する 検体検査部門（検体搬送）との縦動線に配慮し小荷物搬送用EVの設置を検討する																																					
	手術部																																									

必要諸室		全般			建築等			電気設備						機械設備						備考 (本工事)	配置予定の主要な医療機器等 (別途工事)	
部門名	諸室名	面積 室数	想定面積 規格 m ²	備考	施設要求水準	吊戸棚 カウンタ 洗い台	洗面化粧台 カウンタ	洗面器 手水栓 出	電話 T.V	音響 スピーカー ホン	LAN	コンセント	照明器具	空調運転時間	排水 給湯 排水 ガス	蒸気 特殊排水 吸引 排氣 室内換気装置	医療ガス 酸素 吸引 空気 蒸気 二酸化炭素 余剰ガス排出	衛生器具 手洗器 ネラフ クーフ クマツ スチール 手術用 排水洗浄 排水洗浄 污水洗浄 污水洗浄 オストメイト シャワーウォーターハンドル				
9.検査部門																						
1. 検体検査室	検体検査室	1	200	200																	単相200V、三相200V	生化学自動分析装置、免疫検査装置、血液分析装置、輸血分析装置、一般検査装置、実験用洗い台
	当直室	1	6	6																		
	執務室	1	20	20																		
	スタッフ用トイレ	1	適宜																			
	保管庫	1	6	6																		
	試薬保管庫	1	6	6																	三相200V フレハブ保管庫・室外機間配管	
	検体検査室																					
2. 細菌検査	細菌検査室	1	35	35																	安全キャビネット、細菌固定感受性装置、実験用流し台	
	前室	1	適宜																			
	細菌検査																					
3. 輪血部門	輪血検査室	1	35	35																	冷蔵庫、全自动輪血検査装置、実験用流し台	
	検体保存室																					
輪血部門																						
4. 生理検査	エコーキューブ	2	18	36																	超音波検査装置	
	エコーキューブ	2	14	28																	超音波検査装置	
	心電図室	1	30	30																	心電計	
	呼吸機能室	1																				
	RHI-SPP室	1																				
	PWV室	1																				
	肺活量計 速度検査	1																				
	足開脚上 胸血圧比検査	1																				
	ABI室	1																				
	脳波室	1	10	10																	脳波カメラ	
	脳波室前室	1	適宜																		脳波カメラモニター	
	洗髪用洗面台	1	適宜																		洗髪流し、ヘアトラップ	
	筋電図・神経室	1	10	10 3m×3.5m程度																		
	運動負荷心電図室	1	15	15																	単相200V	
	運動負荷心電図室 前室	1	適宜																		トレッドミル	
	技師所見室	1	20	20	カウンタレンズ室共用																	
生理検査																						
検査科																						
各検査室の出入口はベッドでの入室が可能な編を確保する 患者用EVとの動線短縮に配慮する																						

必要諸室		全般			建築等		電気設備							機械設備											備考 (本工事)	配置予定の主要な医療機器等 (別途工事)
部門名	諸室名	面積 室数	想定面積 規模 m ²	備考	施設要求水準	吊戸棚 カウンタ 洗面化粧台 ティーカウンタ 洗面器 電話 T.V 音響 患者呼び出 アシストコール インターホン 医療機器用 接続端子 その他 電子録り ネットワーク LAN コンセント 照明器具 無停電 発電機 特種電源 一般回路 調光設備 その他 空調運転時間 給水 排水 ガス 蒸気 特殊排水 酸素 吸引 空気 窒素 二酸化炭素 余剰ガス排出 手洗器 ネジ式タップ クイックタップ 手術用手洗器 排水洗浄 汚物洗浄 乳児バス オストメイト シャワーウォーターフィルタ 手指洗浄機	医 レバー・混	24時間	感光	自動・単	安全キャビネット・局所排気装置用配管、臓器撮影装置用配管															
10. 病理部門																										
1. 病理検査	切出室・固定室	1	20	20		安全キャビネット、局所排気装置を設置し、作業ができるスペースを確保すること 包括・薄切室と構接すること ホルマリンに対応した排気設備を設けること	医 レバー・混																		安全キャビネット・局所排気装置用配管、臓器撮影装置、切り出し台、実験用流し台	
	接体受付コーナー	1				包埋・薄切室内に設置する																				
	顕微鏡室	2	15	30		合わせて顕微鏡5台、資料保管、病理医・技師の計5人程度の執務スペースを設置する 職員共用廊下下で直接入室できるよう配置すること																			顕微鏡	
	包埋・薄切室	1	50	50		顕微鏡1台を設置するスペースを設けること 包埋装置に大型ダクト接続式局所換気装置（床置型）を設置するために、天井にダクト接続口を設けること 包埋場所・薄切場所にダクト接続式局所換気装置（卓上型）を設置するために、天井にダクト接続口を設けること 2人程度の執務スペースを設ける ホルマリンに対応した排気設備を設けること	医 レバー・混																			包埋装置、自動染色装置、自動封管装置、パラフィンプロック作成装置、ミクロトーム、局所換気装置、遠心機、実験用流し台
	染色・封入・細胞診検体処理	1			包埋・薄切室と一室	遠心機の他、塗抹、染色、封入等に必要な機器を設置し、作業ができるスペースを確保すること 組織切出場所、自動染色装置、組織保管庫、細胞診処理場所、手動染色場所、標本封入場所にダクト接続式局所換気装置（卓上型）を設置するために、天井にダクト接続口を設けること	医 レバー・混																	実験用流し台		
	資料・カルテ保存室	1	6	6																						
	手術材料室	1	6	6	有機溶媒一時保管室含む	ホルマリンに対応した排気設備を設けること																				臓器撮影装置
	保管室	2	15	30		プロクリエア、スライドエアフローを設けること ホルマリンに対応した排気設備を設けること																				
	スタッフ用トイレ	2	1.5	3																						
病理科検査																										
2. 診察室・病理解剖室	職員用出入口	1	適宜																							
	更衣室	1	6	6																						
	スタッフWC	2	適宜																							
	シャワー室	1	10	10	US+更衣室																					
	前室	1	10	10		スタッフ用用前室にして設置すること 清拭を行った後の流し台を設置すること 陰圧室に応じること スリッチャートが入るスペースを確保すること	医 レバー・混																			
	解剖室	1	30	30		解剖台、蓄材棚等を設置し上げ、解剖が行えるスペースを確保すること 部屋の四隅に人扉付近に排気口を設けること 陰圧室に応じること フジシブル排気装置を設置するために、天井にダクト接続口を設けること 満室に応じること 記載スペースを設けること	医 レバー・混																			ラジオフロー用排気管、架台・アンカーアーム、解剖台、ラジオフロー、臓器撮影装置、流し台
	切出室	1	15	15		安全キャビネットを設置し、作業ができるスペースを確保すること 解剖室と一室配置する	医 レバー・混																			局所換気装置用配管
	標本室	1	15	15		ホルマリンの調整、保管を行う 解剖後摘出した臓器を一時保管すること 陰圧室に応じること ホルマリンの調整、保管場所、臓器の一時保管場所にはホルマリンに対応した局所排気装置設けないこと																			移動収納棚用レール埋込み 移動収納棚	
	遺体冷藏庫	1	8	8		バスルーム形式の冷蔵庫は導入しない																				三相200V、ドレン用排水
	監査室	1	20	20																						遺体観察カメラ
	家族控室	1	12	12	3m×4m程度	同時に4人が使用できるスペースを設ける																				
	ロビー・エントランス	1	20	20	3m×5m程度																					自動・混
警安室・病理解剖室 病理科部門																										
11. MEセンター部門	ME室	1	80	80		充電用電源を設けること 執務エリア、倉庫を兼ねたスペースとする 個人用透析装置、RO装置、透析材料の保管場所を別途適宜設ける																			MEメンテナンス用の床排水を設ける	
	ME管理室	1	5	5		ME室と一緒に設ける、科長の執務、面談スペース																				
	MEセンター部門																									

必要諸室		全般			建築等		電気設備						機械設備						備考 (本工事)	配置予定の主要な医療機器等 (別途工事)												
部門名	諸室名	面積 室数	想定面積 規格 m ²	備考	施設要求水準	吊戸棚 カウンタ 洗面化粧台 ティカウン	洗面器 洗面化粧台 ティカウン	電話 電話	T V	音響 音響	ア ン ス コ ー ル	患者呼び出 ホン	医療機器用 接続端子 イ ン ス ト ー ル	LAN	コンセント	照明器具 ：電子ネジ 無停電電源 特種電源 一般回路 調光設備 その他	空調運転時間 24時間	給水 排水	排水 排水	ガス 蒸気	特殊排水 酸素	医療ガス 吸引	空氣 空氣	室内換気装置 二重換気装置	余剰ガス排出 洗面器 /	手洗器 スクリーブ クーラー	手術用 排水栓 手洗器	排水栓 排水栓	手術用 手洗器	排水栓 排水栓	オストメイト 乳児バス	シャワートイ 手指洗浄機 水栓
16. 管理部門																																
職員管理	院長室	1	18	18	6m×3m程度						自動・混																					
	理事長・副理事長室	1	30	30							自動・混																					
	看護部長室	1	18	18	6m×3m程度						レバー・混	自動・混																				
	事務室	1	18	18	6m×3m程度 事務室隣接						自動・混																					
職員管理 計		84																														
管理系統室	業務打合せ室	4	15	60	3m×5m程度																											
	医局	1	450	450	医師100人 ラウンジ・医局事務を含む オープンスペース:70名分程度 ブース間:診療科部長・副部長・30人程度						レバー・混	自動・混																				
	研修会場A	1	20	20	4 5席+医局秘書が利用できるスペースを設けること 医局内に設けること																											
	研修専用施設	1	40	40	研修医20人程度のオープンベースを設けること 執務エリアミーティングエリアを設けること						レバー・混	自動・混																				
	研修会場B	1	20	20	医局・研修医専用施設の間に配装置 共用休憩やカワソレバースペースとして使用できるオープンベースとする 内装機・腰腔鏡の椅子を行き来する						レバー・混																					
	看護部事務室	1	40	40	執務5人・ミーティング10人+給湯スペース程度のオープンベースを設けること 看護部長室に隣接させる						レバー・混																					
	看護実習生室	1	50	50	看護部事務室に近接させること 移動便仕切にて2室に分割可能な設えとする						レバー・混																					
	講堂 兼職員食堂	1	300	300	200-300人、パントリー・WC・厨房30m含む						レバー・混	自動・混																三相200V 電動ロールスクリーン				
	会議室 大	1	100	100	スクリーン、映像、音響設備を設けること 可動間仕切を設置して利用を可能とすること 定員は50-100人程度とする 健診室、災害対策室としての機能も兼用する																							電動ロールスクリーン				
	会議室 中	2	50	100	可動間仕切を設置して利用を可能とすること 定員は30-50人程度とする																											
	会議室 小	3	30	90	定員は10-30人程度とする																											
	職員更衣室(男)	1	135	135	約300名分のロッカーゲート設置できるスペースを確保すること 洗面コーナーを設けること 清潔ユニフォーム及び不潔ユニフォーム置場が設備可能なスペースを確保すること						自動・混																					
	職員更衣室(女)	1	240	240	洗面+WCを加える 約600名分のロッカーゲート設置できるスペースを確保すること バグダードコーナーを設けること 清潔ユニフォーム及び不潔ユニフォーム置場が設備可能なスペースを確保すること						自動・混																					
	ユニフォームストック	適宜	適宜																													
	当直センター	1	80	80	医師分、USA室+当直室6室						自動・混																					
	職員休憩室	7	30	210	すべての間に各1箇所設置すること(それに伴い規格mは調整すること)						自動・混																					
	レディーススペース	2	10	20							自動・混																					
	清掃員控室	1	20	20							レバー・混																					
	清掃用具庫	3	10	30																												
	管理系統室																															

